

子ども支援農園通信

☆ 緑・食育・地域交流 ☆

子ども支援農園 (区民活動グループ)

発行責任者 高田 良活

横浜市栄区公田町 1 6 3 2

広報担当 河辺 美樹子

子ども支援農園 20 周年

高田代表の挨拶

子ども支援農園は今年 3 月で 20 周年を迎えました。発足当初は栄区内の保育圏の年長児を対象に、現在は野七里地域ケアプラザとなってしまった敷地でサツマイモを育て、子ども達と食育活動を行なっておりました。

その後、平成 17 年 (2005 年) 6 月に食育教育法が制定され、翌年の 3 月に栄区子ども菜園事業が発足し現在の子ども支援農園となりました。

しかしながら当初の活動拠点であった土地に新しくケアプラザの建設が決まったために桂台西の住宅地の中の未使用の土地を借用することになり、新規に本郷中央地区民生員が主体となって桂台小学校や保育園の児童の育成と地域との支え合いを目的に始めた食育活動です。

その 5 年後、現在の桂台北に活動場所を変えて活動を続け早いもので活動 20 年目を迎えました。発足当初は食育活動を手探りの状態で始めましたが、地域との連携が非常に大事なことを切実に感じています。最近の活動は、「地域に寄り添う」をモットーに、地域の皆様にサツマイモ収穫体験、ジャガイモ収穫体験、玉ねぎ収穫体験、そして、栄区の皆様に安心、安全な無農薬野菜の提供を目的として「KaturaDai 野菜 MARUSHE」を開催し地域貢献に寄与したいとおもいで活動していますがまだまだ満足できるものではありません。その中で昨年 11 月に栄区社会福祉大会で栄区社会福祉協議会より感謝状をいただいたことは農園スタッフにとって大きな励みになりました。

20 年目の区切りにあたり簡単ですが記念事業として農園で収穫した新鮮な野菜を使った「特製カレー」の提供や収穫体験などの収益の一部を能登震災の被災者支援といたします。

今後とも食育活動を続け地域に寄り添い貢献していく所存ですので子ども支援農園の応援をよろしくお願い致します。



(栄区民祭にて)

農園からのお願い

農園活動を維持するためのスタッフが高齢化してきており今後とも活動を継続していくためには新しいスタッフの参加が急務となっています。

畑仕事や野菜の栽培に興味がある方、子どもたちの食育活動を応援してみようと思われる方はどなたでもお気軽にご連絡ください。

事務局連絡先 ☎ 090-6958-9633

ジャガイモの植え付け

2 月の半ばにジャガイモの植え付けをしました。農園の北半分を使っての作業でしたが昨年の秋以来放置していたために土が固くしまっており耕運機の刃が立たないほどでした。4 畝 8 列を作りマルチをかけて約 400 個の種芋を植え付けました。



今回植え付けたのは男爵とデストロイヤーの 2 品種です。男爵芋は一般的ですがデストロイヤーは店頭で見かけることもなく耳慣れない品種じゃないですか？ 見た目は赤紫色でごつごつした感じで身は黄色といった珍しい特徴を持っています。食感はホクホクとしてサツマイモのような風味があるそうで収穫が楽しみです。

一方、昨年 11 月に桂台小学校の皆さんと一緒に植え付けた玉ねぎは順調に育っておりジャガイモとともに 6 月の収穫に期待しましょう。

玉ネギ・ジャガイモの収穫体験 & 農園「特製カレー食事会」のお知らせ

収穫体験

6 月 1 日 (雨天の場合は翌 2 日) に子ども支援農園 (北桂台バス停からすぐ) にて毎年恒例の玉ネギとジャガイモの収穫体験を実施します。

受付時間は 10 時から 11 時 30 分で玉ネギ、ジャガイモそれぞれを 50 名ずつの方に先着順で料金 350 円にて体験していただけます。

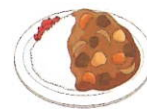
(無料招待券をお持ちの方は別枠です)

特製カレー食事会

収穫体験当日は子ども支援農園 20 周年を記念して「特製カレー食事会」を 11 時から 13 時まで桂台地域ケアプラザで実施します。

桂台小学校の児童さんと我々農園スタッフで育てた野菜を使った特製カレーです。

大人 200 円、子ども 100 円と皆さんが気軽に楽しめる料金としています。



一般の方への販売

農園および桂台地域ケアプラザではジャガイモ、玉ネギの一般販売を同時に実施します

実施の詳細は別途チラシにてご案内します。皆さん方の振るっての参加をお待ちしています。